第６９回高体連函館支部秋季柔道大会

兼　第４４回全国高等学校柔道選手権大会函館支部予選大会　開催要項

１　主　　　催　　北海道高等学校体育連盟函館支部

２　後　　　援　　函館柔道連盟

３　主　　　管　　北海道高等学校体育連盟函館支部柔道専門部

４　当　番　校　　北海道八雲高等学校

５　期　　　日　　令和３年１０月２２日（金）

|  |
| --- |
| 【１０月２２日（金）】９：００ 　　　　開場・受付・会場準備９：３０～９：４５　　　 男女体重計量９：５０ 　　　　専門委員会（会議室）１０：１０ 　　　　監督主将会議（会議室）１０：３０ 　　　　開会式１０：４５ 　　　　男子団体試合（女子団体試合は男子団体「決勝戦」前に行う）１３：００　　 男子個人試合（女子個人試合は男子「決勝戦」前に行う）１６：００ 　　　　閉会式・会場撤収 |

６　会　　場　　　八雲町総合体育館（二海郡八雲町住初町185　　℡0137-62-2141）

７　審判規定　　（１）試合は国際柔道試合審判規定による。

　　　　　　　　（２）高体連柔道専門部申し合わせ事項

　　　　　　　　　　　①団体試合

1. 試合時間は３分とする。
2. 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「僅差」（「僅差」は「指導差２」）以上とし、代表戦で両試合者にポイント差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を行い、勝敗を決定する。延長戦では「技有」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。
3. 代表戦は任意に選手を選出して行う。

　　　　　　　　　　　②個人試合

1. 試合時間は３分とする。
2. 判定基準は、「技有」または「僅差」（「僅差」は「指導差２」）以上とし、両試合者にポイント差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を行い、勝敗を決定する。延長戦では「技有」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。

８　参加規則　　（１）北海道高等学校体育連盟函館支部に加入していること。

　　　　　　　　（２）令和３年度全日本柔道連盟に登録を完了している団体（選手）であること。

　　　　　　　　（３）高体連主催大会参加者災害補償制度に加入している者、または加入意思のある者。

（４）平成１５年４月２日以降に生まれた者。ただし、同一学年での出場は１回限りとす

る。

　　　　　　　　（５）令和３年２月１日以降の転学者は参加させない。ただし、一家転住等の理由によ

　　　　　　　　　　　りやむを得ない場合は、高体連支部長の許可があればこの限りではない。

　　　　　　　　（６）チームの編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混合

　　　　　　　　　　　は認めない。

　　　　　　　　（７）出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。

　　　　　　　　**（８）柔道ルネサンスの観点より専門部が茶髪・染色と判断した選手の出場を認めない。**

　　　　　　　　（９）参加規則の特例

　　　　　　　　　　　①上記（１）に定める生徒以外で開催要項により大会資格を満たすと判断され、北

　　　　　　　　　　　　海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参

加を認める。

　　　　　　　　　　　②学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技２回限りとする。

　　　　　　　　（10）男子団体戦は５人戦、３人戦のどちらにも出場することができる。ただし５人戦は３名以上、３人戦は２名以上とする（全道大会のエントリーはどちらかのみ）。

９　編　　成　　（１）男子５人戦勝ち抜き団体試合　監督１名・選手６名・主務１名　計８名

　　　　　　　　（２）男子３人戦点取り団体試合　監督１名・選手３名・補欠１名・主務１名　計６名

　　　　　　　　（３）女子団体試合　監督１名・選手３名・補欠２名・主務１名　計７名

　　　　　　　　　　　先鋒52ｋｇ級・中堅63ｋｇ級・大将無差別級とする。ただし、体重の軽い者は重

　　　　　　　　　　　い階級に出場できる。補欠は該当する体重区分に出場できる。

　　　　　　　　（４）外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

10　試合方法　　（１）男子団体試合５人戦

　　　　　　　　　　　①試合方法については参加チーム数により、専門部で決定する。

②各チーム間の試合は勝ち抜き戦とする。

③試合は各チーム３名以上で行い、試合毎のオーダーの変更を認める。

④第1試合のオーダーは監督主将会議後すぐに提出し、以後は試合開始前までに

本部進行まで提出すること。

⑤チームの勝敗は下記の事項により決定する。

ア、試合毎に勝点を１とし、チーム間の勝敗の決定は勝率高点法とする。

イ、リーグ戦、トーナメント戦において同点同内容の場合は代表決定戦を1回行

い、必ず勝敗を決定する。

　　　　　　　　　（２）男子団体戦３人戦

①試合方法については参加チーム数により、専門部で決定する。

②各チーム間の試合は点取り戦とする。

③試合は各チーム２名以上で行い、試合毎のオーダーの変更は認めない。

④第1試合のオーダーは監督主将会議後すぐに提出し、選手変更は試合開始前まで

に本部進行まで提出すること。

　　　　　　　　　（３）女子団体試合

　　　　　　　　　　　　①試合方法については参加チーム数により、専門部で決定する。

　　　　　　　　　　　　②各チーム間の試合は点取り戦とする。

　　　　　　　　　　　　③試合は各チーム2名以上で行い、試合毎のオーダーの変更は認めない。

（３）個人試合

　　①体重別の試合とするが、参加人数により階級を混合にする場合もある。

（※男女とも参加人数により函館支部柔道専門部で決定する）

　　②男子の体重区分は次の５階級とする。

　　　　６０㎏級・６６㎏級・７３㎏級・８１㎏級・無差別級

　　③女子の体重区分は次の５階級とする。

　　　　４８㎏級・５２㎏級・５７㎏級・６３㎏級・無差別級

１１　支部代表　　　男子　団体５人戦上位２校・団体３人戦上位３校・個人体重別５階級上位４名（ただし無差別級は１２名とする。）

　　　　　　　　　　女子　団体・個人体重別５階級

１２　組合わせ　　　令和３年１０月１３日（水）　１４：００～　　北海道八雲高等学校　会議室

柔道専門部により決定する。

１３　申込方法

|  |
| --- |
| （１）申込期日　令和３年１０月１１日（月）必着　で、メールにて送る。また学校長印を押印したものを郵送すること(〆切以降の申し込みは原則として受け付けません)。　　　　　　　　（利用者名簿はメールのみ送付のこと。郵送は必要ありません。八雲町総合体育館への提出物となります）（２）申込先　〒０４１－０８５２　　　　　　　　函館大谷高等学校（函館市鍛冶１－２－３）高体連秋季柔道大会事務局　清水　猛　宛　　　　　　　　メール送付先　　　shimizu@hakodate-otani-h.ed.jp |

１４　参加料 団体試合　　１チーム　　　５，０００円

 個人試合　　１名　　　　　１，０００円

✧団体試合に出場する選手であっても、個人試合に出場する場合には、団体参加料の５０００円とは別に１名につき１０００円の参加料が必要である。

✧１０月２２日（金）受付時に当番校に納入すること。

✧男子５人戦・３人戦・女子ともに団体戦参加料は同じ。

１５　表　　彰 団体試合は３位まで、個人試合は各階級３位（無差別は９位）までを表彰する。

１６　注意事項

（１）選手の変更について

①申し込み後に変更が生じた場合は、所定の用紙に当該学校長の出場承諾印を添えて、

１０月２２日（金）の監督主将会議までに大会本部に届け出ること。

②参加申し込み後の団体試合の選手変更は、１名を限度とする（補欠選手が優先する）。ただし、伝染病・天災等による場合はこれを適用しない。

（２）競技中のケガ・疾病などの応急処置は主催者・当番校が行うが、その後の責任は負わない。

（３）選手は、必ず当該校引率責任者に引率され、引率責任者は選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。

（４）引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

（５）脳しんとう対応として、選手及びその指導者は下記事項を遵守すること。

　　　　①大会１ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

②大会中脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

（６）選手・監督・役員は大会前２週間前から検温をし、記録を付けること。また大会当日に検温票を持参すること。

（７）当日会場内でも検温を行い、体温が高い場合は出場及び観戦を不可とする。

（８）以下の事項に該当する場合、自主的に参加を見合わせること。

　　①体調が良くない（発熱・せき・のど痛などの症状がある）場合。

　　②同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合。

　　③過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

１７　諸連絡

1. 紅白帯は各校で用意してください。
2. 持ち物・貴重品は各校で管理してください。
3. 宿泊については当番校では取り扱いません。各校で手配してください。
4. 男子は男子更衣室または会場内、女子は女子更衣室で着替えをしてください。
5. 会場内での飲食はできません（水分補給程度は可）。
6. 試合当日に会場設営・撤去・清拭を行います。各校はお手伝いをお願いします。

１８　その他

（１）別紙注意点をよく読み、新型コロナウィルス感染拡大防止に努めること。

　　（２）感染拡大状況により大会が中止になる場合もある。中止の場合、参加料は不要。

　　（３）大会は高体連規約より無観客で行う。大会の模様はYouTube上にて同時配信をする。「第６９回高体連函館支部秋季柔道大会」で検索。ただし配信（電波）状況が不安定な場合、途切れることがある。体育館は一切関係がないため連絡を入れないで下さい。

第６９回高体連函館支部秋季柔道大会について

高体連函館支部柔道専門部

　新型コロナウィルスによる感染の終息の見えない状況ですが、感染拡大防止策を十分に行った上で大会運営を行っていきたいと考えております。そのため選手・顧問・役員・保護者にはそれぞれ責任を持った対応をしていただきたく思います。ご協力・ご理解下さい。

［大会参加にあたって］

（１）以下の事項に該当する場合は参加・来場できない。

　　①体調が良くない場合（発熱・せき・のどの痛みなどの症状がある場合）。

　　②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

　　③過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航または該当在住者との濃厚接触がある場合。

（２）大会２週間前から検温をし、記録表に記録。大会当日に持参（受付時に各個人で提出）すること。

（３）入館時にはさらに体温測定（非接触型）を行い、体温が高い場合は入館させない。

（４）選手・役員ともにマスクを必ず着用すること（選手は競技時以外のすべての場面）。

（５）こまめな手洗い、手指消毒をすること（各チームで消毒液を持参のこと）。

（６）他の参加者・役員等との接触を極力控え、適切な距離をとること。

（７）飲み物・タオル等は他人との共用を避けること。

（８）感染防止のため定められた措置を遵守し、役員・監督の指示に従うこと。

（９）大会終了後２週間以内に新型コロナウィルス感染症を発症した場合、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告すること。

（１０）今回の大会は無観客で行う（高体連からの指示。大会の模様はYouTubeにて同時配信します）。

［試合中］

（１）試合前・試合の合間・試合後に畳の清拭（消毒・除菌）を行う。各選手の協力を願います。

（２）試合以外ではマスクを着用する（入館時・観戦中・試合待機時など）。

（３）監督・コーチ・役員はマスクを着用する。

（４）競技中、監督は大きな声によるコーチング、選手・観戦者は声による応援を行わない。

（５）試合後のハイタッチや握手等も禁止。

（６）審判もマスクを着用して行う。

（７）出血等あった場合は、付着部分をきれいに清拭する。

［試合後］

（１）試合後も体調管理表の記録を付け、健康管理に配慮する。

（２）大会後、感染症を発症した場合は速やかに報告すること。